

教育目標 【自ら学び 生かす 心豊かな生徒の育成】

幸福度ナンバーワンの学校をめざそう！

厚保中学校だより

令和元年

7月号

何が必要か、何を届けるか。

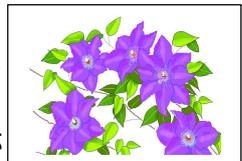
校長 松本 恵理子

厚保中学校は、道徳科の授業にみんなで取り組んでいます。授業の時には、毎回、複数の教職員が見守ります。より良い授業づくりをめざして、事前に学年で相談したり、事後にも反省会をしたりという光景もみられます。子どもたちも、道徳の時間は目を輝かせ、互いの考えを伝え合う場面も多くみられ、意欲的に活動しています。

6月に3年生（21名）の「一冊の漫画雑誌」という「東日本大震災時の本屋さんで起きた小さな奇跡」を取り扱った授業を参観しました。当時、精神面でも大きな打撃を受けた子供たちが、一冊の漫画本に救われ、自ら募金をするを思いつき、「津波を受けた地域に本を届けるプロジェクト」につなげたお話です。タイトルの通り「人っていいな」と思わずにはられませんでした。

その時、数年前参加した、ある弁論大会で聞いたスピーチを思い出しました。「貧困にあえぐ国の子どもたちになぜぬいぐるみを贈るのか」というテーマでした。生きるために即必要な物資だけでなく、心を癒すものが子どもたちを救うのですね。

道徳の授業に真剣に向き合うことで子供たちも私たち教職員も「大切なこと」を教えてもらっているように思います。



季節の句

しばらくは 滝にこもるや 夏の始め

松尾 芭蕉

*芭蕉流、「疲れない体のつくりかた」だそうです。

あつまロンネットとは？

あつまロンネットとは、公民館や老人会といった地域の様々な団体、保護者、学校関係者などがネットワークを形成し、地域ぐるみで子どもを育成していくための仕組みです。子どもたちの育ちや学びを支援していくことを意図し、厚保小学校区と厚保中学校区を一つのまとまりとしています。

このネットワークを生かして、6月12日（水）に、「あつまロンネット・クリーン作戦」が実施されました。子どもたちは地域の方々に見守られながら、普段何気なく見たり使ったりしている花壇や道路などの清掃を行うことをとおして、ふるさとへの愛着を深めているようでした。



協調学習・授業公開

6月10日(月)に第1回授業公開・研修会を実施しました。今回は校長が3年生の道德科の授業を行いました。題材は、「伝説のコーチ」という、アメリカの最も荒れた高校の一つであったリッチモンド高校バスケットボール部で起こった実話でした。「全員の成績が上がるまで、バスケットボールはしない。試合にもでない。」というコーチ。このコーチの決意に賛成しますか……という問いが授業の軸でした。どの生徒も、身近な“部活動”の問題を、「コーチや親の思いは?」「自分だったらどうか?」と自分のこととして捉え、熱心に話し合っていました。

本校は昨年度に引き続き、東京大学 CoREF (コレフ) が提案している「知識構成型ジグソー法」を用いて授業研究に励んでいます。二年次ということで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、さらなる飛躍を実現したいと考えています。



学校花壇作業

6月11日(火)に、講師として古屋洋道先生をお招きし、全校生徒・教職員で花壇作業を行いました。

これから夏にかけて、厚保中学校が美しい花々でいっぱいになることを期待しています。



美祢市選手権(県選手権予選)

卓球部女子

団体・個人(2名)ともに県大会への出場が決まりました。残り少ない時間を、無駄なく使い、精進します。



卓球部男子

個人では、県選手権大会に3名出場が決まりました。このチームでの限られた残りの試合、全力で頑張ります。



軟式野球部

選手権予選大会は、悔しい結果に終わりました。美祢市夏季大会に向けてこれから頑張っていきたいと思います。



バレーボール部

女子バレー部も、残すところあと1試合になりました。最後までチームで頑張ります。



高校説明会

6月4日(火)に3年生と保護者対象に高校説明会を行い、近隣の高校4校から説明をしていただきました。これから3年生は受験生として、オープンスクール等に参加する予定です。いよいよ受験シーズンのスタートです。

7月の主な行事

- 1日(月) 期末テスト1日目
- 2日(火) 期末テスト2日目
- 生徒集会
- GHP講話、情報モラル教室
- 8日(月) 学校評価アンケート実施日
- 15日(月) 海の日
- 17日(水) 学期末懇談、自由参観
- 薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室
- 18日(木) 学期末懇談、自由参観
- 19日(金) 終業式
- 23~25 サマースクール
- 27日(土) 市夏季体育大会